

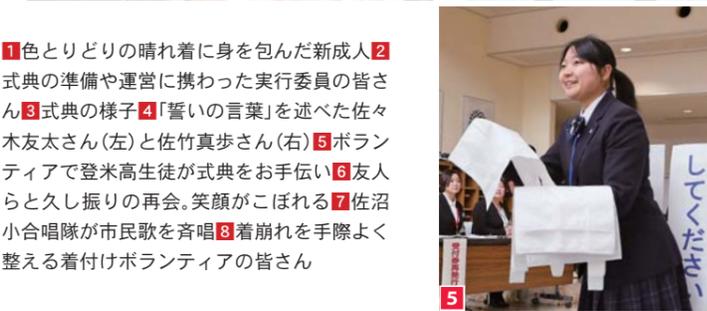


出会えた 全ての人たちに感謝

稲葉 日帆里さん
南方町北本郷

私は、この20年間で、たくさんの経験をし、多くの人と出会うことが出来ました。中でも、中学から現在も続けているボランティア活動での出会いが、私を大きく変えたと思います。

子どもたちの地域活動支援や地域づくりに取り組み中で、全員で一つのものを創りあげる楽しさや難しさ、壁を仲間と乗り越えたこと、たくさん笑ったこと、さまざまな年代や職業の人と関わることで視野が広がったことなど、多くの思い出を得ることができました。苦しいことや悩むこともありましたが、全てが



1色とりどりの晴れ着に身を包んだ新成人2式典の準備や運営に携った実行委員の皆さん3式典の様子4「誓いの言葉」を述べた佐々木友太さん(左)と佐竹真歩さん(右)5ボランティアで登米高校生が式典をお手伝い6友人らと久しぶりの再会。笑顔がこぼれる7佐沼小合唱隊が市民歌を斉唱8着崩れを手際よく整える着付けボランティアの皆さん



20歳の主張

新成人を代表し2人の「20歳の主張」(要約)を紹介します

感謝の気持ちと 大人の自覚を大切に

白石 雄大さん
東和町錦織4区



私は成人の日を迎えるに当たって、大切にしていきたいことがあります。まずは「感謝」することです。家族、地域の方々、友人など多くの人の支えがなければ、今の私はなかったでしょう。これからもお世話になる周りの人々に対して感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

次に、大人としての「責任」を持つことです。大人になることで、さまざまな権利を手にし、行動には責任が伴います。社会の一員としての自覚と責任を取れるよう日々精進していきたいです。



せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。元号に込められた思いとともに、新成人の皆さんがそれぞれの夢を大きく咲かせることができるよう期待します」と式辞を述べました。

新成人を代表して佐々木友太さん、追町大綱南さんと佐竹真歩さん、豊里町下町さんが、「新しい時代に成人した私たちが、この地域を魅力あるまちにしていきたい、発展に貢献していきます。これからは、一人一人が成人としての自覚を持ち、夢や目標に向かって日々努力していくことを誓います」と力強く誓いの言葉を述べ、決意を新たにしました。

特集 令和2年 登米市成人式 ～令和とともに大人を歩む～

1月12日、登米総合体育館で「令和2年登米市成人式」が開かれました。令和最初の成人式に20歳という節目を迎えた新成人。新たな決意と自覚を胸に、令和とともに大人として歩み始めました。

新成人を祝福するかなやかな稲米市成人式が1月12日、登米総合体育館で開かれました。今年の新成人は1999(平成11)年4月2日から2000(平成12)年4月1日までに生まれた815人で、昨年より6人減少。式典には、663人(男357人、女306人)が出席しました。

正午過ぎ、会場は色とりどりの振袖や羽織はかま、スーツに身を包んだ新成人であふれ、華やかな雰囲気にかつて共に過ごした友人との再会を喜び合い、近況を報告したり、記念撮影したりする姿が会場の至る所で見られました。

午後1時から開かれた式典では、熊谷盛廣市長が「新たな元号『令和』には、人々が美しく心を寄

